学校番号	３０１

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎（理型）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「化学基礎」改訂版　（啓林館）						
副教材等	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）スクエア最新図説化学（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な物質の成り立ちを学び、意欲的にそれらを探究する態度を身につける。
・物質の成り立ちとそれらの変化について、化学的なとらえ方を身につける。
・物質等の化学的な書き方、元素記号などを覚えて、それら記号の表す意味を理解する
・物質の変化についてその意味を理解し、量的変化の計算は副教材等を用いて繰り返し練習する。
・目的意識を持って、観察・実験などを行う。

2　学習の到達目標

・化学の基本理念や法則を理解し、活用する能力を身につける。
・具体的な物質の性質や反応を理解し、基本理念や法則と結び付ける。
・物質の変化について、化学的なとらえ方を学び、理解する。
・主体的に観察・実験に取り組む。
・化学が日常生活に大きくかかわっていることを知り、身近な物質とその変化への理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身の回りの物質･それらの変化に関心を持ち､意欲的にそれらを探究しようとする科学的な態度を身につけている。	身の回りの物質やそれらの変化についての規則性について学習し､その規則を理解し他の変化についても当てはめる科学的な考察力を持っている。	観察・実験においてそれらの方法・結果を的確に記録し得られた結果から法則性を見出す能力を身につける。実験の基本操作を身につける。	化学的な事柄の表現方法を修得し、概念・法則を理解し化学的な知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・宿題提出	・授業態度 ・発問評価	・実習態度 ・実験報告書	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	物質の構成	・混合物・純物質・単体の分類 ・元素と元素記号 ・状態変化	○	○		○	a:化学の学習に意欲を持って取り組んだか b:こちらの発問に積極的に答えようとした d:各テストの点数	授業態度 実験レポート 定期考査 小テスト
1	物質の構成粒子	・原子の構造 ・電子配置、イオンの成り立ち ・元素の周期律 ・周期表の成り立ち	○ ○	○		○	a:基礎知識を習得しようとした態度が見られたか b:授業中の問いに対し答えられたか d:各テストの点数	授業態度 発問評価 プリント提出 定期考査
1	化学結合	・イオンとイオン結合 ・共有結合と分子の成り立ち ・共有結合の結晶 ・金属結合、金属結晶 ・化学結合による物質の分類	○ ○ ○ ○	○			a:イオンの成り立ちに興味を持って取り組む態度が見られたか授業プリントの取り組み b:発問時積極的に答えたか	授業態度 発問評価 プリント提出 定期考査
1～2	物質量と化学反応式	・原子量、分子量、式量 ・物質量とその応用 ・物質の溶解と濃度 ・化学反応式の作り方 ・化学反応における量的関係 ・化学反応における基本法則	○	○		○ ○ ○	a:計算方法を習得したか b:授業中の問いに答えたか d:各テストの点数、授業中の計算練習や副教材を使っての反復的な取り組み	定期考査 授業態度
2	酸と塩基	・主な酸塩基と酸塩基の定義 ・強弱と水素イオン濃度 ・中和と量的関係 ・中和滴定の基本操作		○	○	○ ○	a:酸・塩基反応を理解したか b:授業中積極的に取り組んだか c:中和滴定の実験操作の理解度 d:各テストの点数	定期考査 実験レポート 授業態度
2～3	酸化還元反応	・酸化、還元の定義 ・酸化剤と還元剤 ・酸化剤と還元剤の量的関係 ・金属のイオン化傾向 ・製鉄や電池の原理	○	○ ○		○ ○	a:酸化・還元反応を理解したか b:発問時に答えられたか d:各テストの点数、副教材を使っての反復練習	定期考査 問題演習 授業態度
3	発展	・実用電池 ・電気分解の仕組み ・電気分解の量的関係 ・電気分解の工業的利用		○ ○ ○		○	b:積極的に発言できたか d:各テストの点数、副教材を使っての反復練習	定期考査 問題演習 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。